

今週（2月9日から2月13日）の短期金融市場動向

●無担保コール市場

今週の無担保コールO/N物は、引き続きビッドサイドの調達ニーズが堅調に見られ、出合いレートの水準は、0.727～0.728%程度で安定的に推移した。連日試し取りが実施されたことから、付利金利を上回る水準での出合いも一部見られた。

ターム物に関しては、年度内物で0.8%台半ばから後半での出合いが散見された一方で、年度末を越えるロングターム物については、ビッドサイドに一定のニーズは見られたものの、オファーが乏しく閑散とした状況となった。

日銀当座預金残高は、12日(木)まで454兆円前後で安定的に推移する展開が続いたが、13日(金)に年金定時払いを受けて、463兆円弱まで大幅に増加する見込みとなった。

●債券レポ市場

今週のGC T/N物の出合い水準は、概ね0.75%前後での推移となった。

SCは、ロールオーバーを中心に幅広い銘柄で取引が見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが堅調に推移した。

9日(月)に実施された6M物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーでも底堅く推移した。

13日(金)に実施された3M物入札も無難な結果となったが、結果発表後のセカンダリーでは強含みで推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、不動産、電気機器、建設業など複数の業態から大型発行が行われた。

市場発行残高は、週を通して26兆円台前半で推移した。

発行レートは、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均株価 (円)	新発10年国債 利回り(%)	為替 (ドル/円 中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート (T+1 ON・%)	日銀当座預金残高 (億円)
2/9 (月)	56,363.94	2.290	156.89	0.728	0.750	4,541,400
2/10 (火)	57,650.54	2.235	156.10	0.727	0.750	4,540,800
2/11 (水)						
2/12 (木)	57,639.84	2.230	153.10	0.728	0.749	4,539,400
2/13 (金)	56,941.97	2.210	152.87	0.728	0.750	4,627,700

来週（2月16日から2月20日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー（※米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

		国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
2/16 (月)	10-12月期のGDP1次速報(内閣府 8:50)				NY祝日(Washington's Birthday)
2/17 (火)	12月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)		5Y物 2/18発行 25,000億円	交付税借入 2/27借入 12,505億円	
2/18 (水)	1月の貿易統計(財務省 8:50) 12月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)				1月の米鉱工業生産 12月の米耐久財受注 11・12月の米新規住宅着工件数 1月の米消費者物価指数
2/19 (木)	12月の機械受注統計(内閣府 8:50)		TDB1Y 2/20発行 33,000億円	20Y物 2/20発行 8,000億円	交付税借入 3/5借入 12,500億円
2/20 (金)	1月の全国消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 12月のサービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)		TDB3M 2/24発行 47,000億円		10-12月期の米GDP速報値 12月の米個人消費・所得支出(PCE) 11・12月の米新規住宅販売件数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/16 (月) 日銀予想	500	▲ 11,000	▲ 10,500	国債補完	2,700		2,700	▲ 7,800	TDB3M発行▲47,000 債還43,000 流動性供給▲6,500 個人向け発行▲7,500 債還500
2/17 (火) 弊社予想	1,000	▲ 3,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
2/18 (水) 弊社予想	▲ 500	▲ 30,000	▲ 30,500	全店共通	▲ 8,000		▲ 8,000	▲ 38,500	労働保険料揚げ 5Y発行▲25,000
2/19 (木) 弊社予想	▲ 500	15,000	14,500				0	14,500	
2/20 (金) 弊社予想	▲ 1,000	▲ 4,000	▲ 5,000				0	▲ 5,000	TDB1Y発行▲33,000 債還32,000 20Y発行▲8,000 エネルギー対策借入▲2,977期日4,400
週間合計	▲ 500	▲ 33,000	▲ 33,500	—	▲ 5,300	0	▲ 5,300	▲ 38,800	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き堅調な資金調達ニーズが見込まれるため、0.727%近辺での推移が予想されるが、試し取りの影響によりやや上振れることもあり得る。債券レポGC T/N物のレートは、0.73~0.76%前後の水準で推移することが予想される。短国市場は、19日(木)に1Y物、20日(金)に3M物入札が予定されている。CP市場は、18日(水)に五・十日発行が予定されており、発行案件がどこまで膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では16日(月)に10-12月期のGDP1次速報、19日(木)に12月の機械受注統計、20日(金)に1月の全国消費者物価指数(CPI)、海外では、18日(水)に11・12月の米新規住宅着工件数、19日(木)に12月の米貿易収支、20日(金)に10-12月期の米GDP速報値、12月の米個人消費・所得支出(PCE)、11・12月の米新規住宅販売件数などの公表が予定されている。（※尚、米国については、政府機関閉鎖の影響に留意する必要がある。）

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘導することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申しあげます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くことがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。